

# 金剛堂建立



平成 27 年 6 月 10 日落慶

大聖山 吉祥院 玉川不動

# 吉祥院 金剛堂建立にあたり

株式会社 鈴竹工務店

棟梁 鈴木大祐

金剛堂建立にあたり山主 龍迅様に天平時代から残されている奈良の唐招提寺の様な何百年もの風雪・天災からも耐えうる様などっしりとした物を残したいとお話を頂き、先ず奈良に行き東大寺・法隆寺・唐招提寺と廻って来ました。

今までに何度も訪れておりますが、今回は肌で感じる事を第一に考えてみて廻りました。早速帰り今度は以前修理をした時に制作されました修理報告書を調べる事にしました。何冊かは私も所有しておりましたが、唐招提寺金堂や法隆寺回廊・東院・舍利殿・・・は滋賀県立大学図書館に行き調べる事にしました。

そこで唐招提寺金堂の様な寄棟造りと法隆寺細殿の様な切妻造りの設計を提案させて



唐招提寺 金堂

て頂きましたが、場所が狭く本堂との釣合い等を考えた結果、切妻造りが最もふさわしいとなり切妻造りに決定を致しました。

中に収まりますお地藏さまや限られた敷地の中で天平様式のどっしりとして優美な姿にするにはとても難しく何度も書き直しを致しました。

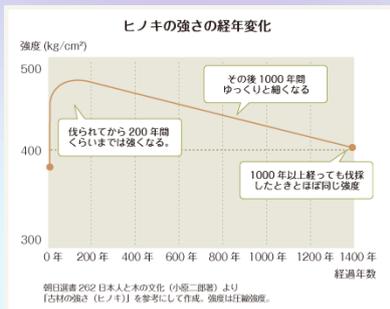
先ず柱は天平様式の要のエンタシスの形です。

下から上に上がるに従って太く成りまた上に上がると細く成るという形の円柱に致しました。

大きさも太い所で8寸(24cm)と太い為其れに合わせ全ての材も大きく致し、力強く至る所の材には反りを入れ優美な姿を再現致しました。

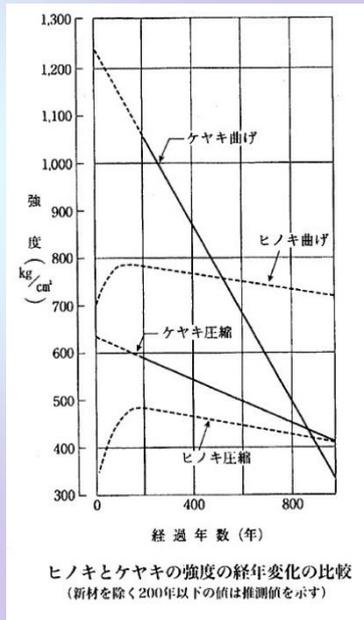
其れでは何故天平様式が素晴らしいかと言いますと端的に言うと源に今も残っていると言う事です。

残っていると言う事は、それだけで1000年以上もの間立ち続けていると言う答えです。どんなに現代の考えが優れていても実際に残されている物ほど確かなものは御座いません。つまり同じ仕事形の物を作れば同じように残されるのです。しかし今は悲しい事に同じ仕事をしても同じような材料(木・鉄)は手に入りませ



るので、少しでも近づけるように材料は総ヒノキで作らせて頂きました。

よく樺の方が堅く強いのでは有りませんかと聞かれますが、確かに樺は強く堅いのですが、水にはもろく風化が早いので外部の雨の掛かる所には適さず、年数が立つと粘りが無く折れてしまうのです。そのてんヒノキは水に強く粘りも有り、凄いい事に伐採してから200年かけ堅く



一般的の袖 (本掛箕甲)



金剛堂の袖 (積蓋袖)

成り続け、1000年かけて徐々に弱く成ると言う事が残されている材を調べる事で解り、耐久性は世界最高レベルと言われているのです。

また、地盤もこの場所は以前切り倒した木の根っこも有ったことから、小さいですが住宅の基礎以上の基礎を打ちました。

基礎石や敷石の石は淡い紅色の美しい国産万成石で仕上げました。

国産万成石は国内で採掘できる素晴らしい桜御影石の一種で、結晶は極めて堅固で、基礎石には最適な石です。

屋根瓦は本瓦葺き(土無し)で葺き上げ、積蓋袖仕様ですっきりと仕上げました。

本瓦はサイズを一回り小さい物を選び、屋根の流れが短いので袖は奈良県で良く見られる手法で瓦を細かく引き並べるやり方、積蓋袖ですることですっきりと見せました。

また、今回特に鬼瓦にはへら書(焼く前の瓦に篋で字を記すること)をする為、愛知県安城市の創作鬼瓦マサヨシまで御山主に出向いて頂きへら書きをして頂きました。

鬼瓦の側面を見て頂けますとご覧いただけます。

以上の事からもおわかりの様に社寺建築と住宅建築では考え方が全く違うのです。

特に今の住宅は一世代をスパンに考えて作る為 20~30年しか考えていません。

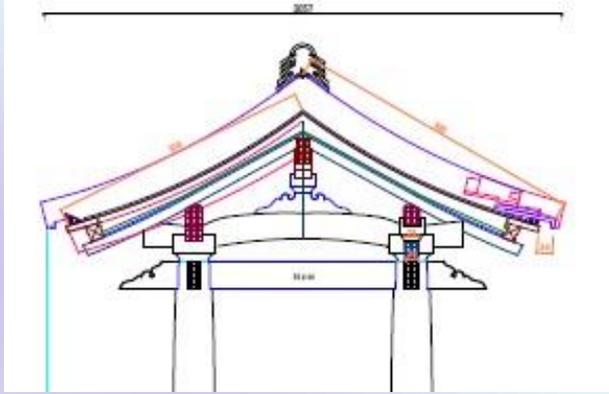
が、本格的な社寺建築は 300年 500年をスパンに考えております。

その為材料を吟味致し、作り方や木の組み方には神経を注ぎ築き上げていきます。

当然、手を入れなければ 500年という途方も無い年月は持ちませんが、きちんと手入れをして頂ければ 500年立ち続ける金剛堂を建立させて頂きましたので、末長くご自愛下さいませ。

# 金剛堂工事の記録

## 原寸型板作り

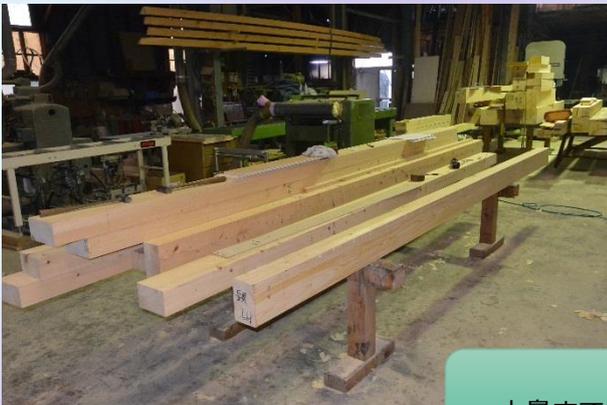


断面図



断面図の原寸図をベニヤに描き型取り

## 木材加工



墨付け



頭貫の加工

木鼻まで1本の材料で加工

## 丸柱の加工



穴掘り



掘った穴の仮埋め



8角 16角 32角最後に円にする

工場視察



鬼瓦ヘラ書き



工場で仮組



ベタ基礎工事



ベース 100mm+捨てコン 60mm+  
グリ 100mm 鉄筋 10mm@150

釘・ボルトは使わず組み立てる

建て方

柱から貫通





破風を止める為の雇い  
ホゾで桁に止める



野垂木兼桔木でホゾを入れ軒先を吊上げる



小口裏甲を取り付ける端に行くほど厚くなる



瓦座を瓦の形にくり抜く



### 瓦工事



積蓋袖の為細かく並べる



懸魚飾り輪宝



本漆に純金箔押し



# 金剛堂工事関係者

設計・施工	株式会社 鈴竹工務店	滋賀県犬上郡豊郷町
		棟梁 鈴木大祐
基礎工事	有限会社 下田組	東京都西東京市
		下田伸一
瓦工事	株式会社 田中瓦店	滋賀県彦根市
		田中与志弘
石工事	新星会合同会社	神奈川県川崎市
		押田康一



先人の想いをつなぐ



鈴竹工務店

---

<http://suzutake.jp/>